

山武市市民提案型交流のまちづくり推進事業審査会
令和5年度 事業成果（事業評価）報告書

令和5年度山武市市民提案型まちづくり推進事業審査会の審査結果を次のとおり報告いたします。

記

- 1 審査委員 10名
- 2 審査方法 実績報告書による書類審査及び成果報告会による発表
- 3 審査団体 チャレンジ部門3団体
- 4 審査講評 各事業実施団体からの成果報告については、概ね事業目的に沿った適正な活動であったと認められます。
各団体の事業評価内容は、別紙のとおりです。

<チャレンジ部門>

■ しおさいプロジェクト実行委員会

活動拠点となる「しおさい公民館」を中心に地域全体に貴プロジェクト活動が浸透していると感じられた。

発行している「かわら版」は、わかりやすくPR効果も大きいため、継続や自治会との協力も期待できる。今後は、かわら版継続と併せてQRコードを使用した呼び込みをするのはどうか。

交流事業である「しおさい祭り」は、成東東中学校吹奏楽部の参加はとても良いアイデアであり、地域および他の地域参加者を温かく見守ることができる活動であった。

なお、事業収入が0円となるが、今後の持続可能な活動へ向けた自主財源の確保に対する方策・工夫と若い世代（子ども達）の参加促進を期待したい。

活動の自立に向けた基礎固めができており、事業継続の意思を感じられる。今後とも地域活動等を継続いただきたい。

■ 美杉野4丁目自治会

防災体制・健康増進・共助活動はマーケットシェアを広げて、4丁目だけではなく他の地区とタイアップするなど、他の地域を巻き込んだ活動となることを期待したい。

また活動の改善やイベントの復活に対し取り組んでおり、PRや人材確保など更なる進展を願いたい。

収入・支出共にバランスが取れており、収入の部においては、事業実施に伴い生じる収入を確保しており、自立に向けた事業準備が想定されていることを評価するが、今後の組織体制を改めて考え、事務局機能とともに強化していくことも必要である。

高齢化に伴う課題や取り組むべき事柄を明確にしており、魅力的な「美杉野4丁目」意識を持って暮らしていこうとすることに期待できる。今後とも地域住民を巻き込んだ活動をしていくことを望む。

■ しぜんめぐりし隊

技術を学び次世代へより良い環境を継承するという明快な視点について高く評価し、自然から学ぶことも多いため、今後も色々と研究・開発を継続いただきたい。

また、広報へ記事を掲載したことで市民の関心が深まったと思われる。どのような人たちを対象に活動の魅力を発信し、募るのかのコンセプトを明確にすることでより連携も進むのではないだろうかと思われる。

収入の部において、事業イベントへの参加費やその他収入によって事業の財源が確保されているが、支出の部における人件費等に占める割合が多く感じられるため、地域の農業経験者のボランティアを募るなど連携を図っていただきたい。

なお、書類の期限を極力守る事や事業活動に関する報告（いつ・何を行ったか・参加数）を具体的に記録し、今後の活動の資料とする必要があるだろう。

活動に関する改善課題項目がはっきりしているため、インフラ整備が進んだ後の活動に期待する。